

## 第2回 (2021年度) 日本セラミックス協会功績大賞受賞者

みずたに のぶやす  
水谷 惟恭 氏



水谷惟恭氏は、電子セラミックスの原料から焼結・デバイス化までの広範囲にわたる、セラミックプロセッシング分野の発展に多大な功績をした。なかでも、バルクセラミックスの欠陥、不定比性、状態図等の研究を通じた電子セラミックスの特性発現の研究や、電子セラミックスの粒界付近の不純物偏析現象に関する研究、ゾルゲル法による多くの物質の単分散微粒子の合成やその生成機構、酸化物薄膜のシリコン基板上へのエピタキシャル成長等の先駆的な研究で、この分野の発展に多大な貢献をした。そして教育・研究分野で活躍する多くの人材を育成した。上記成果に対して、1991年に学術賞、さらには2016年にフェロー表彰を受けている。

本協会に於いては、1984年度以降13年間理事を務めた。この時期は社会でのセラミックスへの関心が高まり、会員が増加し、それに応じて論文誌・セラミック誌の編集や秋季シンポ等の行事の活性化など運営全般の改革が急務になり、これらの改革に大きく貢献した。その後も1997年度～1998年度に電子材料部会長、1999年度～2000年度関東支部長、1999年度～2000年度副会長として、特に協会の地域開発や企業との連携などの協会の発展に尽力した。

以上、同氏は本会における活動を通じてセラミックス分野の発展に顕著な業績を挙げるとともに、長年にわたって日本セラミックス協会の活動に極めて多大な貢献をされた。よって、日本セラミックス協会功績大賞として表彰する。

**略歴** 1970年3月東京工業大学大学院理工学研究科博士課程無機材料工学専攻修了。同年東京工業大学助手、助教授（この間にマサチューセッツ工科大学研究員）、1987年教授、工学部長、総合分析センター長を経て2005年定年退職。2005年東京工業大学特任教授、2006年国立東京工業高等専門学校校長、2010年豊橋技術科学大学監事、2016年嘉悦学園理事長、2019年退任

**受賞歴** 1991年日本セラミックス協会学術賞、2011年10年毎記念表彰永年継続会員賞、2014年日本工学教育協会 JSEE AWARD、2016年日本セラミックス協会フェロー表彰、2020年瑞宝中綬章

**協会歴** 1984年度～2001年度理事（1999年度～2000年度副会長）、2017年度～名誉会員